

# 大里小だより

10月号

令和5年10月3日

※学校だよりは、校長が作成しています。

## 運動会 子どもが主役である原点にもどって

やっと秋が訪れた9月23日(土)、運動会を開催することができました。それまでは暑い日が続き、熱中症にならないようにと連続して運動する時間に配慮しながら練習をしてきましたが、当日は子どもたちが思う存分頑張っただけ、涼しい日になりました。ご参観のみなさんの体調も心配して対策を考えていましたが、過ぎしやすい日で何よりでした。



開会式前、校長室の隣の1年生教室からは「楽しみ〜！」と口々に言う子どもたちの声が聞こえてきました。1年生にとって小学校の運動会は初めてだからでしょうが、子どもたちの意識を「やらされる運動会」でなく、「自分たちが楽しむ運動会」にするという今年の学校のねらいが達成できたのではないかと、始める前からこっそり嬉しかった出来事でした。

全児童で行う赤白対抗競技は、定番になっていた「綱引き」とせず、児童会で考えてもらいました。その結果、借り人競争「大里ファミリー」となりました。当日は、子どもたちの呼びかけに積極的に応じてくださりましてありがとうございました。まさにファミリーだと感じました。主役である子どもたちが生き生きとしていました。

高学年の表現種目「リ・ポーン」のダンスは、6年生が考え5年生に教えて出来上がりました。「次は、私たちが」と5年生は思っていることなのでしょう。他学年の団体競技でも、そのやり方に子どもたちの声を反映させて、工夫していました。

子ども同士が考えを出し合い、つながり合い、学びがあるように、子どもが主役であるという原点に戻って、運動会という行事に取り組んできました。

そこにみなさんからの声援が加わり、子どもたちは伸び伸びと競技や演技を行うことができました。ありがとうございました。

「ここで一生懸命やるのか、やらないのか」と開会式で子どもたちに問いかけましたが、大里の子は「やる」人に育っていくと思います。優勝は白組という結果でしたが、赤組も白組も仲間を信じて、一日競技を重ねました。応援し合いました。協力とはどうする

ことか。知恵を出し合うこと、励まし合うこと、あきらめないことだと学べたと思います。共に過ごし心を一つにした、この日の心地よさを、子どもたちには忘れないでいてほしいと思います。

来年度の運動会は、熱中症の心配から時期を遅らせ、涼しい時期に開催する予定です。

## 2学期の食教育（栄養教諭 渡邊先生と各担任による）

9月26日から28日にかけて、各学年が食教育の授業を実施しました。

1年生のテーマは「さつまいもをおいしく食べよう」でした。1・2年生は、もうすぐ教育ファームで、さつまいも掘りをします。毎年大きなさつまいもをいただきます。各自家に持って帰りますので、この学習をもとにお子さんと話をしてみてください。学校でも生活科でお楽しみの調理をする予定です。

2年生は「どうして朝ご飯を食べるのでしょうか」でした。朝ごはんの働きについて学びました。朝ごはんをしっかり食べて、エネルギーをためることが大切だとわかったと思います。しっかり食べるためには、朝寝坊しちゃだめです。



3・4年生は「元気が出る朝ごはんを考えよう」でした。栄養のバランスについて学びまし

た。コーヒーにトーストだけという私の朝食は、だめですね。（本当は菓子パンが大好きなのですが・・・）視力が衰えてきたので、一応ブルーベリージャムをトーストにぬっていますが、効果は？です。

5年生は「お米のよさを見直そう」でした。5年生は＜総合的な学習の時間＞の活動として、社会科の学習から発展させて「お米が秘めている可能性」を探っていきます。この学習は、その計画の中に位置付けられています。

6年生は「野菜の取り方を知る」でした。野菜の力、一日に必要な野菜の量について学び、野菜不足にならないための工夫を考えました。子どもたちが将来自立しても、生涯にわたって健康を維持するために大事な学習です。

また、これらの学習を通して、学校給食がいかにか工夫されているかについても、子どもたちは知ることになりました。